

平成24年度 予算

限られた財源で、身近な住民サービスを最優先

3月7日から開催された町議会で、平成24年度の予算が可決されました。

平成24年度は、東日本大震災の影響により電力事業者の業績悪化が見込まれるため、法人町民税等の減収が避けられない状況です。また、国のエネルギー政策の動向がいまだ不透明である等、近年にも増して厳しい財政状況が予想されます。

そのため、税収や交付金、繰越金等の財源が明確になるまでは重点施策を除く政策的経費の計上を極力控え、義務的経費や住民に身近なサービスを最優先とした「コンパクトでハートフル」な予算編成に努めました。

予算総額 102億7,522万円

一般会計 65億5,460万円

特別会計 35億3,486万円

企業会計 1億8,576万円

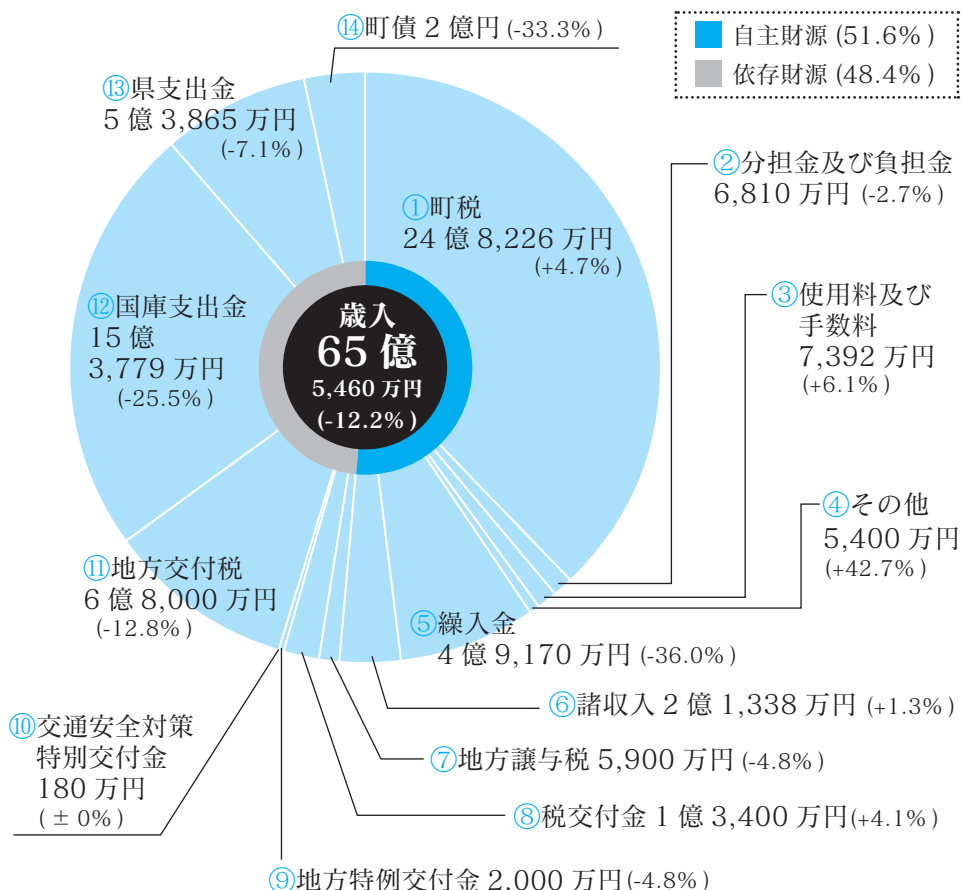
※実際の予算額は千円単位ですが、分りやすくするため万円単位で表示しています。

一般会計は対前年度比12・2%減
 一般会計の予算規模は、65億5,460万円で、前年度に比べ12・2%の減となりました。
 歳入では、財政運営の根幹となる町税が24億8,226万円となっており、前年度と比較して4・7%増えています。これは23年度は骨

格予算だったため、多くを補正予算の財源として残し、当初予算では計上しなかったことによるものです。財源構成をみると、町税や使用料等の町が自らの権限で収入とできる自主財源の割合は全体の51・6%。残りの48・4%は国・県からの補助金や交付金等から成る依存財源と

● 一般会計歳入

※ () は対前年度比



用語説明

歳入

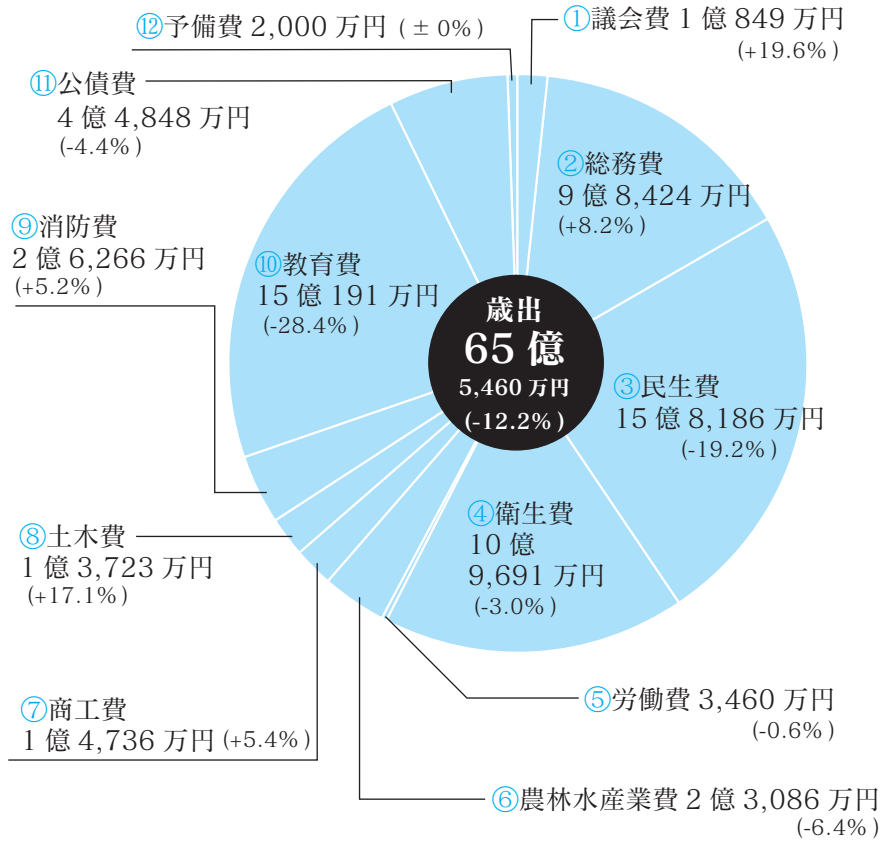
- ① 町税…町民税、固定資産税、軽自動車税等、町に納められる税金
- ② 分担金及び負担金…一定の事業により特別な利益を受ける者からその事業に要する経費の全部または一部を受益に応じて徴収するお金
- ③ 使用料及び手数料
使用料…総合体育館等、公の施設の使用料
手数料…税の証明や住民票等の交付に対する手数料
- ④ その他…財産収入、繰越金、寄附金
- ⑤ 繰入金…一般会計・特別会計・基金等の会計間で相互に資金運用するお金
- ⑥ 諸収入…他の収入科目に含まれない収入をまとめた科目。延滞金や預金利子、雑入等
- ⑦ 地方譲与税…自動車重量譲与税、地方揮発油譲与税
- ⑧ 税交付金…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金
- ⑨ 地方特例交付金…児童手当の制度拡充や子ども手当の創設に伴う地方負担の増加分等に対応するために国から交付されるお金
- ⑩ 交通安全対策特別交付金…交通安全施設の整備、安全運転の確保、交通秩序の確立等一連の対策のために国から交付されるお金
- ⑪ 地方交付税…地方公共団体が一定水準の業務ができるよう財政状況に応じて国から交付されるお金
- ⑫ 国庫支出金…国が公益性を認め、その事業を実施するために国から交付されるお金
- ⑬ 県支出金…事業など特定の目的の財源として県から交付されるお金
- ⑭ 町債…各事業を行うために町が借り入れるお金

歳出

- ① 議会費…議会活動にかかる経費
- ② 総務費…自治振興、広報、戸籍、統計、選挙等にかかる経費
- ③ 民生費…児童福祉・障がい者への福祉サービスや老人福祉の増進、保育園や保健福祉センターの管理・運営にかかる経費
- ④ 衛生費…保健衛生、ごみ処理など、衛生的な生活のためにかかる経費
- ⑤ 労働費…労働者への貸付等にかかる経費
- ⑥ 農林水産業費…農林水産業の施設整備・振興や農業委員会の運営に係る経費
- ⑦ 商工費…中小企業の振興育成・雇用促進、観光振興にかかる経費
- ⑧ 土木費…道路・橋・河川・町営住宅の管理や都市計画にかかる経費
- ⑨ 消防費…消防署や水防・防災対策にかかる経費
- ⑩ 教育費…小中学校の管理・運営や総合体育館等の管理・運営、社会教育、学校給食にかかる経費
- ⑪ 公債費…地方債の元金及び利子の支払いにかかる経費
- ⑫ 予備費…予算編成で予期しなかった支出に対応するための経費

● 一般会計歳出

※ () は対前年度比



● 特別会計・企業会計

会計区分		予算額 ※()は対前年度比
特別会計	診療所事業	1億8,283万円 (+1.4%)
	国民健康保険事業	13億3,201万円 (+1.9%)
	後期高齢者医療事業	1億 710万円 (+0.2%)
	介護保険事業	11億2,410万円 (+12.0%)
	簡易水道事業	1億538万円 (+119.2%)
	集落排水処理事業	1億9,697万円 (+12.4%)
	公共下水道事業	4億8,647万円 (-4.7%)
	小計	35億3,486万円 (+6.1%)
企業会計	上水道事業	1億8,576万円 (-3.9%)

なっており、収入の約半分を他に依存している状況です。

歳出では、民生費で前年度比19・2%減の15億8,186万円、教育費で前年度比28・4%減の15億1,911万円が計上されています。民生費と教育費が大きく減少したのは、平成23年度はせせらぎ保育園や美浜南小学校体育館の建設工事を実施したのに対し、24年度は生涯学習センターを除くと大規模な施設建設を計画していません。

予算規模は縮小しましたが、子育て支援として、子ども医療費助成事業等の「すくすく美浜っ子サポート事業」は継続します。また、衛生費では、重点施策の一つである健康づくりを推進するため、ワンコインで受診できるがん検診や、特定年齢者に対するがん検診費用の無料化事業等を実施していきます。

平成24年度の主要事業



健康づくり推進事業で毎年開催している
ウォーキング大会(ハートフルウォーク)



消火器の取り扱い訓練を行う自主防災組織(郷市区)

美しい自然と共生するまち (自然・環境)

- ラムサール条約重要湿地保全事業 66万円
ラムサール条約登録湿地の久々子湖と日向湖の水質検査等を実施する。
- 環境基本計画実践事業 59万円
町環境基本計画等に基づき、行政・事業所・住民が責任と役割を分担し、環境保全に取り組む。

安心して快適にくらせるまち (生活環境)

- 地域コミュニティバス運行事業 3,347万円
3路線(丹生線・日向線・新庄線)の運行、バス待合所建設等
- 道路維持事業 3,112万円
町道の維持補修工事等
- 自主防災組織整備事業 260万円
各地区自主防災組織の資機材購入費等を補助する。

健やかでぬくもりのあるまち (福祉・健康)

- 子ども手当 1億5,631万円
中学校修了までの子どもの養育者に手当(最高1万5千円)を支給する。
- みずうみ保育園整備事業 7,033万円
新しいみずうみ保育園の建設に向けた敷地造成工事等
- 子ども医療費助成事業 3,131万円
中学校修了までの子どもの医療費を助成する。

- 心身障害者(児)医療無料化対策事業 6,683万円
身体・知的・精神の障がい者(児)に対して医療費を助成する。
- 家族介護用品支給事業 588万円
要支援・要介護の課税世帯に対し、おむつ等の介護用品を支給する。
- 感染予防事業 2,472万円
各種予防接種を実施するほか、感染力予防の注意喚起を図る。

- 健康づくり推進事業 190万円
健康意識の啓発を目的に、講演会や健康教室、相談事業等を実施する。

元気にぎわいのあるまち (産業・雇用)

- 有害鳥獣対策事業 1,738万円
嶺南焼却処理施設負担金、有害鳥獣捕獲報奨金等
- 松くい虫被害総合対策事業 1,308万円
航空防除や被害木の伐倒駆除、被害調査等を行う。
- 若狭美浜観光PR事業 2,147万円
観光PR映画「サクラサク(原作小説・さだまさしさん)」の制作出資金等
- はあとふる体験推進事業 845万円
体験交流事業を担うNPO法人はあとふる美浜NWへの補助金等

平成24年度に取り組む主な事業を、第四次美浜町総合振興計画の基本目標に沿って紹介します。(金額は事業費です)



人権尊重啓発協議会が開催している
町民人権講座



田植えを体験する小学生たち



映画「サクラサク」に登場する
瑞林寺(早瀬)

こころ豊かな人を育むまち
(教育・文化)

● 食育・食農教育推進事業

267万円
町内の小学生を対象に農業体験等の機会を提供する。

● 給食センターの管理運営

9,483万円
給食材料費、調理・配送・洗浄業務委託料等

● 放課後児童クラブ事業

605万円
小学校低学年児童を対象に、南市児童館等で児童クラブを開設する。

● 国吉城址史跡調査及び公園整備事業

682万円
国吉城址の発掘調査、環境整備検討委員会の設置等

みんなで共に拓くまち

(住民活動・共同・協働)

● 人権教育推進事業 897万円

町人権尊重啓発協議会への補助金、派遣社会教育主事給与負担金等

● 協働のまちづくり推進事業

50万円

住民参画による「協働のまちづくり懇話会」の設置、協働モデル事業に取り組み団体への補助金等

重点
施策

※ [] は事業費

保健事業

[1,981万円]

健診受診率の向上と健康づくりのさらなる推進を目指し、新たに次の施策を実施します。

- ▶ ワンコイン (500 円) で受診できるがん検診
- ▶ がん検診の無料化
(対象: 41 歳、46 歳、51 歳、56 歳、61 歳、66 歳、71 歳)
※一部無料にならない検診もあります。また、子宮頸がん検診は、21 歳、26 歳、31 歳、36 歳も無料となります。
- ▶ PET - CT 検査費用の半額助成
(対象: 41 歳、46 歳、51 歳、56 歳、61 歳、66 歳、71 歳)



生涯学習センター建設事業 [8 億 9,075 万円]

生涯学習の拠点施設を町役場西隣に建設します。センターは図書館や公民館、文化ホール等の機能を兼ね備えており、完成に向けて現在建設工事中です。

建設工事費のほか、施設で使用する備品の購入費 (2 億 1,102 万円) も計上しています。



↑完成イメージ図(北西方面から鳥瞰図)